

ウェアラブル電子聴診器に関するスタートアップへ出資 ～デジタルヘルスの新時代、AIと化学で実現～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、ペガサス・テック・ベンチヤーズと共同で運営するCVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）ファンドを通じて、ウェアラブル電子聴診器を開発するスタートアップ企業 Aevice Health Pte Ltd.（本社：シンガポール 18 Howard Road、CEO：Adrian Ang、以下、Aevice Health 社）へ出資いたしました。

Aevice Health 社は、慢性の呼吸器疾患である喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）（*1）の疾患管理方法の改善を目指したデジタルヘルスのパイオニア企業です。AI 技術や電子聴診器技術を活用して、呼吸の異常音、呼吸数、心拍数を精密に分析する独自のスマートウェアラブル電子聴診器「AeviceMD」を用いたリモートモニタリングプラットフォームを開発し、現在シンガポールおよびアメリカ合衆国にて事業を展開しています。

今回の出資を通じて、当社がヘルスケア分野で取り組む「予防・診断・治療」の領域において、Aevice Health 社が持つ呼吸器疾患に関する AI 技術や電子聴診器技術と、当社の強みである感染性呼吸器疾患や免疫学に関する技術や知見を融合させて、当社のデジタルヘルスに対する取り組みのさらなる深化を図り、医療課題の解決を目指してまいります。さらに、呼吸器疾患や関連疾患領域における新たな AI 技術の共同研究開発にも取り組んでまいります。

当社は経営計画「Mission 2030」において、世界各国の最先端の技術を持つスタートアップ企業への出資や提携を行うことで新規事業創出を推進するために、2023年1月にCVCファンドを設立しました。CVCを通じた取り組みには、2030年度までに最大で約1億米ドルの投資を計画しています。

当社はこれからも、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

以 上

（*1）慢性閉塞性肺疾患（COPD）

従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。

[以下（1）URL ご参照]

長期間の喫煙に起因する生活習慣病で本邦には500万人を超える患者がいると見積もられています。

[以下（2）URL ご参照]

- (1) <https://www.jrs.or.jp/citizen/disease/b/b-01.html>
- (2) https://www.jrs.or.jp/publication/file/COPD6_20220726.pdf

<Aevice Health Pte Ltd.概要>

- ・ 本社 : 18 Howard Road, #06-11, Novelty, BizCentre, Singapore
- ・ 事業概要 : ウェアラブル聴診器および遠隔モニタリングプラットフォームによる疾患管理サービス
- ・ 公式 HP : <https://www.aevice.com/>



【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社公式ホームページ）】

- ・ 2023年1月17日「CVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）設立に伴う調印式を実施」
https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1099/20230117_denka_cvc.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【お客様からのお問い合わせ先】

新事業開発部門 新事業創出部 電話：03-5290-5522